

— 家族草子 —

ようこそ！ 家族草子をご紹介します



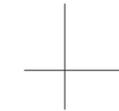
(有)森浩美事務所／家族草子事務局

当パンフレットの内容について、無断による転載・複製複写および流用等を禁止します

私たち“家族草子”は……



お芝居と朗読を融合させた
独自の演劇で……



そして嬉しいことも悲しいことも
楽しいことも辛いことも

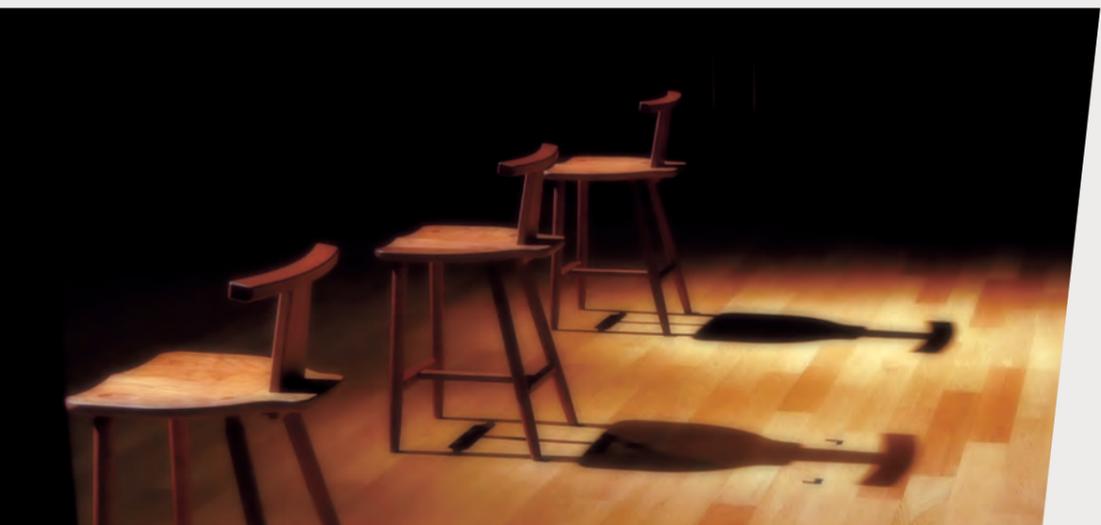
ぜんぶ家族のお話



でも結末には必ず救いの光があります！

2012.12 東京都港区広尾・天現寺スクエアにて旗揚げ。以降、
この地をホームグラウンドとして年2回の本公演を開催。
2013 からは自治体や協賛社の支援のもとに地方公演を開始。
全国各地での公演を行い、好評をいただいております。





舞台セットは椅子のみ



衣装はモノトーンで……



そんなシンプルな
舞台だからこそ……

言葉が活きます

心に届きます



演者と観客に寄り添う ギターやピアノの音色

公演構成

ふたつの作品を上演

第1話 ▶ 休憩 ▶ 第2話

🕒 約90～100分



大ホール公演から カフェ／ラウンジ公演



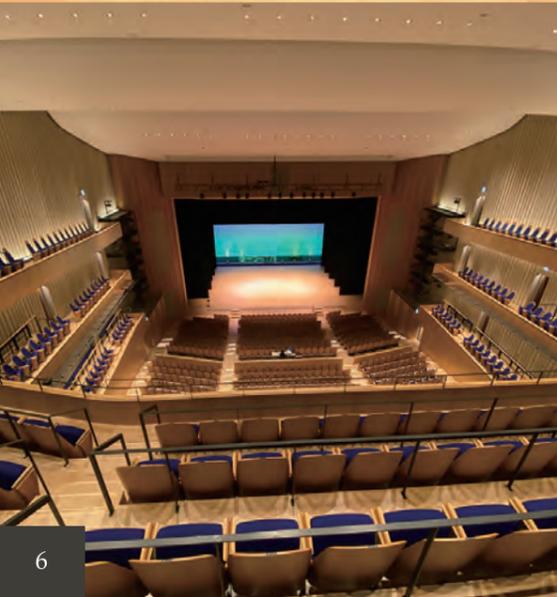
フレキシブルな公演スタイルと 豊富な作品群

大きな劇場での公演はもちろんのこと、実は色々な規模の公演を行なっています。たとえば、カフェやラウンジで行う、お客様50名程度の小さなもの。空間に合わせて演者の人数の増減が可能であり、加えて、日数や公演回数も自在。つまり、どんな場所でも何回でも公演を行えるというフレキシブルさがあります。

また、自前の戯曲数はすでに50本以上と豊富であり、演目の選択肢が多いのも家族草子の強みです。



ギャラリー／酒蔵 さらには野外公演まで





家族草子とは？



もっと身近なエンターテインメントに

若い世代向けの音楽ライブや芝居は数多くあっても、実はオトナ向けのエンターテインメントは少ないのが現状です。伝統芸能やオーケストラの演奏会がありますが、私たちが目指すのは、多くのオトナが気楽に楽しめる、もっと身近なエンターテインメントです。

耳に届く言葉

ほとんどの朗読会では小説文をそのまま読み上げています。しかし「読む」という舞台に適した作品とそうではない作品があります。それは目から入ってくる文章と、耳から入ってくる言葉の違いです。たとえ、どんなに名作や美文であっても、声……つまり「音」にしたとき、必ずしも耳に届くとは限らないのです。家族草子は、作詞家として耳に残るフレーズを駆使し、数多くのヒット曲を手掛けた森が、そのノウハウを活かし「読む小説」から「聴く戯曲」へ変換しています。

オトナだからこそ心に沁みる

物語には様々な年代の人物が登場しますが、40代、50代、60代……と、歳を重ね、親と子どもに挟まれながら生きる「人生の中間管理職」となった世代、また、その時代を経験した方々に共感していただいております。下ろすに下ろせない荷物を背負い長い道を歩む……、そんな人生の酸いも甘いも経験してきたオトナだからこそ、心に沁みる物語です。

思い出のスクリーン

多くの方々から「観ている途中で自分の思い出と重なった」という感想をいただきます。自然と心の中にスクリーンが張られ、ご自身の思い出が映し出される感覚だそうです。そして「私にもこんな時代があったなあ」「あのときの父はこんなふうに思っていたのかも」「妻の気持ちをもっと早く分かってあげればよかった」などといった感想もいただきます。年齢、性別、仕事、生活環境、住む街、あるいは親として、子として、妻として、夫として……など、その時々で違いはあっても、改めて家族について考えるキッカケになっていただいているようです。

様々なジャンルから集結するキャスト陣

家族草子はユニット制です。演者は各々、普段はテレビ俳優、舞台役者、アナウンサー、声優、ナレーター、ミュージシャンなどとして活動し、家族草子の名の下に集結します。各々が得意分野を活かすことにより相乗効果を生み、他に類を見ない個性的な舞台に仕上がります。

創造力と想像力

家族草子の舞台上にあるものは、数脚の椅子のみ。通常の芝居のような大掛かりな舞台セットはありません。また、演者の衣装は、白と黒を基調として特別な衣装を纏うこともありません。余分な情報のないシンプルな空間だからこそ、きちんと言葉を伝えられるか……、そこが演者の腕の見せどころであり醍醐味です。「演者の創造力」と「観客の想像力」がひとつになる舞台こそ「家族草子」の神髄です。

躍動する朗読!?

「芝居」と「朗読」の融合といっても、多くの方は、読み手が椅子に座ったまま本を読むという朗読会をイメージされます。しかし、私たちは動きます。むしろ、お芝居寄りです。

日本の四季の行事

作品には、四季折々の風景が描かれています。また、初詣にはじまり年越し蕎麦といった日本の行事や節句、風習もよく登場します。豊富な作品群があるので、公演の開催時期に合った演目を選んで上演することが可能です。

脳とカラダにやさしい1話40分

ひとつの演目の長さは、おおよそ40分。なぜ、その長さか？民放テレビ局の1時間ドラマは、テーマ曲・エンディング曲・CMを除くと、おおよそのサイズになります。21時台のドラマを見て、5分のニュース、そして22時台のドラマを続けて観ていただく感覚です。公演の基本構成は……「1話目」→「休憩」→「2話目」となり、オープニングからエンディングを含め、トータルで約100分程度。また、休憩を挟むことにより、脳とカラダをリフレッシュし、新たに2話目に集中していただけます。





学生のための 演劇鑑賞会



自治体・教育委員会・学校・保護者会等からのご依頼で小学校・中学校・高校の演劇鑑賞会を行なっています。1話分、45～50分と、ほぼ授業時間と同じです。

なお、小学生低学年向けには動作を多めにした演出に変更しています。

家族草子の原作である森浩美の小説は、100校以上の中学・高校・大学の入試問題に採用されています。



ラジオドラマ～海外へ放送も～ オリジナル動画配信

入試問題のみならず、森浩美の原作小説はNHKや民放局でラジオドラマ化されています。特に「NHK ラジオ第一」の「新日曜名作座」「歌謡ドラマ」「ラジオ文芸館」で放送された作品数は、20作品以上。中には、リスナーからのアンコールをいただき、再放送、再々放送された作品もあります。

「NHK WORLD」のテレビ番組「Reading Japan」では英語に翻訳され、世界へ向けて放送されました。

私たち家族草子でも、オリジナルの動画配信を行っています。

小学生・中学生・高校生が登場する 物語もたくさんあります



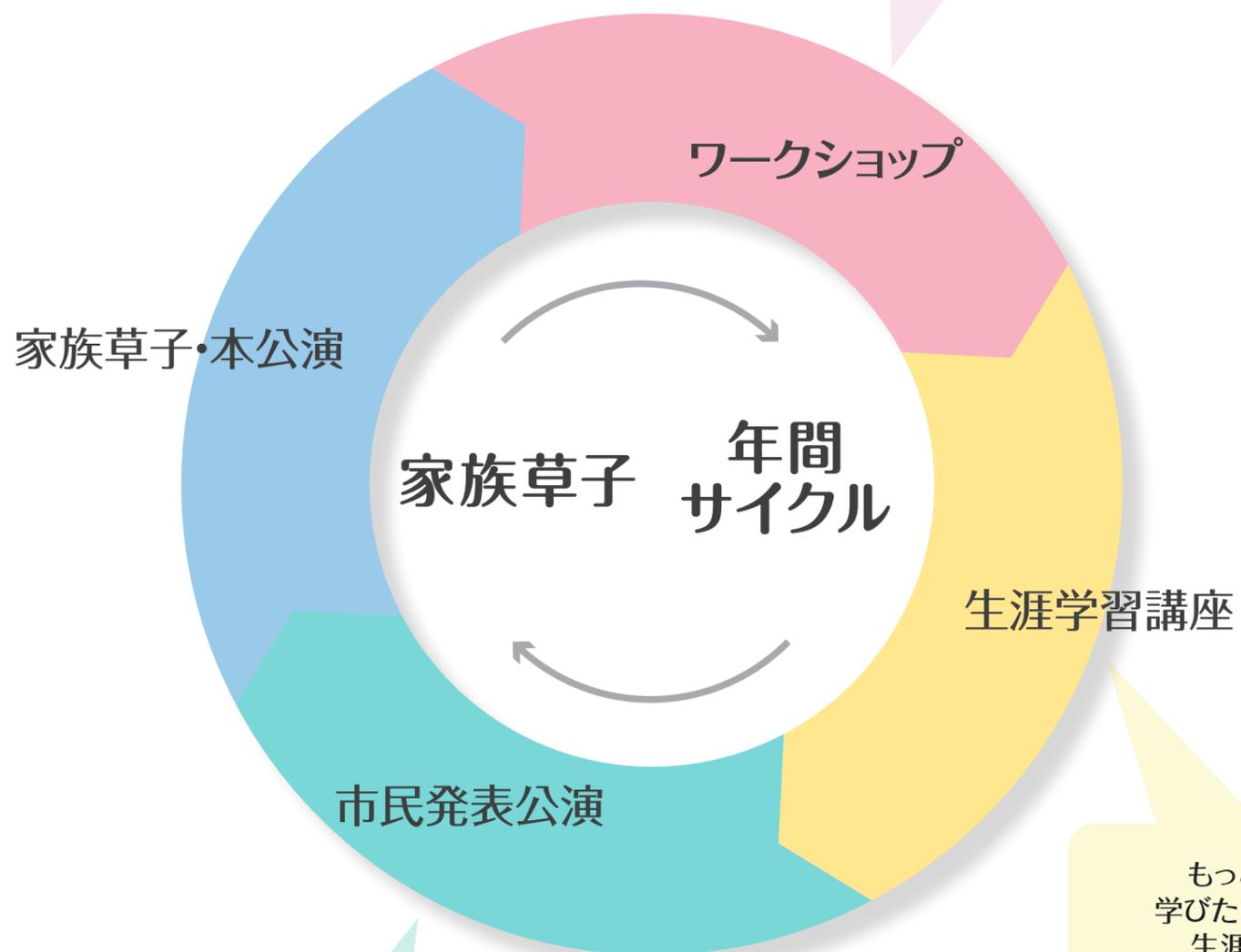
あなたが演じる 家族草子

家族草子は、単に公演で何うだけではなく、その地域にお住いの方々に参加していただけるプログラムをご用意しています。つまり、観劇だけに留まらず、自ら演じることを体験し、年間を通じて楽しんでいただくことが可能です。すでに、複数の地域で実施されています。

家族草子のメンバーを講師として派遣する準備も整っています。



ちょっと興味がある人のための
ワークショップ



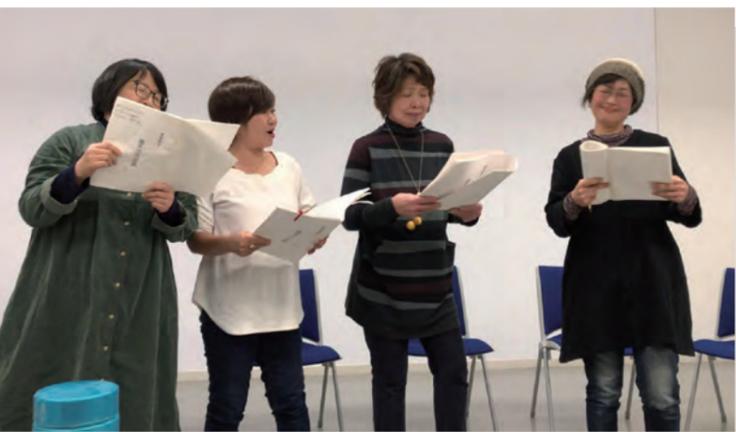
多世代交流や フレイル予防など 福祉と文化の融合

子どもから大人まで、様々な世代の人たちが、ワークショップや講座に集い学び、目標は劇場での発表会。目標を持つ、達成感を味わう、そういうことはすべての人にとって有意義なことです。

また、声を出すこと、動きながら演じることは程よい運動になり、特に高齢者の健康維持にも適しているといわれます。また、演じるということは、「役柄で別の人生を生きる」ということであり、それには想像力が必要です。想像力は脳を活性化するだけでなく、心や感情を豊かにしてくれます。同時に、思い出を振り返ることも、脳にとって良いという報告もあります。

もっとしっかり
学びたい人のための
生涯学習講座

学びの成果を発表する
市民の手による公演



家族草子主宰 森浩美



ご挨拶

2012年の旗揚げ以来、家族草子は、自治体様や協賛皆様のご支援とご理解をいただき、お陰様で公演回数を着実に増やしてまいりました。ありがとうございます。初めて観ていただいたお客様からは「想像してたものとは違っていた。とてもよかった」「思い当たることがたくさんあった」「家族のことを改めて考えるいいきっかけになった」など、公演毎に嬉しい感想や継続を希望するコメントをいただいております。

私は安易に家族礼賛という軸で小説を書いているわけではありません。むしろ、家族とは厄介なものだと思っています。しかし、それでもやっぱり「家族は大切な存在」です。いいときもそうではないときも、家族の絆を描き、そして、そんな家族の物語を舞台に換え、全国の皆様に届けられたらよいと思っています。

これからも、キャスト、スタッフ一同、よりよい舞台をお観せできるよう精進してまいります。変わらずのご支援のほど、よろしく願いいたします。

放送作家を経て、作詞家、小説家。作詞作品として、田原俊彦「抱きしめて tonight」(CX教師びんびん物語)・森川由加里「SHOW ME」(TBS男女7人秋物語)・酒井法子「夢冒険」(NHKアニメ三銃士・第60回選抜高等学校野球大会入場進行曲)・SMAP「青いイナズマ」「Shake」「ダイナマイト」・キンキキッズ「愛されるより愛したい」・ブラックビスケッツ「タイミ

ング」等のミリオンセラーがあり、その作品総数約700曲。小説作品として、「家族の言い訳」「夏を拾いに」「家族の見える場所」等、ロングセラー小説多数。その短編作品は100編を超える。また、中学・高校・大学100校以上の入試問題に採用されている。

有限会社 森浩美事務所 オフィシャルウェブサイト
<http://www.moriss.co.jp>



皆様のご支援に感謝いたします



家族小説シリーズ ラインナップ



あなたの街で“家族草子”をどうでしょう？

自治体様、企業様、団体様、各種クラブ様、私たち家族草子は、様々なスタイルで有意義なひとときをご提供できると自負しております。ご関心ございましたら、お気軽にお問い合わせください。なお、規模に応じた、詳しい公演費用の概算表をご用意もいたします。ぜひ、ご検討ください。

家族草子公演開催については
 公式サイトのお問い合わせフォームより、お願いいたします。

<https://kazokuzoushi.com>